



社員から提出された感想文（一部抜粋）を紹介させていただきます。



チーズはどこへ消えた？で変化を恐れ、ステーションにCに残ったヘムの話。仕事や私生活でも「こうでなくては」という固定概念で上手くいかず、方法を変えてみる事によって上手くいく事もあるので、自分の固定概念にとらわれず、柔軟に物事を考えられるように意識していきたいと思いました。（加藤）



印象に残った言葉が2つあります。1つ目は「感動は、ためらわずに伝える」2つ目は「ミスをしたら再発防止の仕組みを考えよ」です。自分が成長するために1つ1つの行動を見直そうと思いました。まずは積極的に行動しチャンスを掴みに行きます。そして目標を下げずにやり切り皆さまの期待を越えられる存在になります。（長尾）



データドリブンとはデータに基づいて意思決定を行うプロセスのことで、この戦略をとることでリスクを最小に抑え効率性、生産性、顧客満足度を向上させることが可能になります。これからのアレックスの成長に繋げるためにも、蓄積された様々なデータの見える化（可視化）し、活用できるようにしていきます。（太田）



この本を読んで、選択することを避けたり不安に思ったりするのではなく、選択できることは喜ぶべきことなのだと考えなおしました。正しい選択をするために、物事の本質を見抜く力をつけて、より少なく、しかしより良く、最大限のパフォーマンスを発揮できるよう努力していきたいです。（関根）



ブレックスファンとして尊敬している元HC安齋竜三さんのマネジメント方法に興味を持ちこの本を選びました。明確な役割を与える。もし失敗してしまってもマイナスな部分だけにフォーカスするのではなく、その中の良かった部分にフォーカスして未来につながるための前進として捉えて話をするなどを学びました。（斎藤）



今回この本を選んだ理由は、仕事でもプライベートでも人として充実した日々を送るためには、どのような心構えや考え方をすれば良いのかのヒントを得られると思いました。この本で学び感じた「人生・仕事の結果=考え方×熱意×能力」を意識して、人として正しい行いをすること、また「現場」を大切に行動していきます。（飯原）



著者の森岡さんは、経営危機にあった「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」に革新的なアイデアを投入しV字回復をさせた方ということで興味を持ちました。子供の成功を願う親が子供に伝えるべきことは何か？順風満帆からはほど遠い現実の中で、転んでも幸せになるためにはどうしたら良いか？家庭教育の大切さを学ぶきっかけとなりました。（青木）



仕事上でクラウド化が進み、メールでのやり取りが当たり前になり、対面でお話する機会が減ってきている中で、この雑談という題名に魅かれて読ませていただきました。営業としての基本的なことではありますが、手を抜かず、相手のことを真剣に考えていくことで、その想いも相手に伝わるのだと思います。社内外でも意識して活用していきたいです。（稲田）



※今まで皆様にお世話になりました「檜山」は、一身上の都合により10月31日付で退職しましたことをご報告させていただきます。